

肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)の補填金  
単価について

【平成30年4・5・6月分】

平成30年4・5・6月に県内の契約生産者が販売した交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱(平成28年3月25日付け27農畜機第5583号)第6の9の補填金単価(確定値)については、下記のとおりです。

なお、平成30年4・5月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則9の精算払の額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種
平成30年4月確定値 (概算払)	27,200 円 (23,200 円)
5月確定値 (概算払)	103,800 円 (99,900 円)
6月確定値	110,700 円

- 注1: 平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。
- 注2: 平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。  
精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。
- 注3: 概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円未満の場合は概算払を行いません。  
なお、配合飼料価格安定制度の平成30年度第1四半期の補填状況については、下記のホームページをご参照ください。

一般社団法人全国配合飼料供給安定基金

<http://www.esakikin.or.jp/oshirase20140710.pdf>

一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金

<http://www.tikusankikin.com/kouhujoukyou26.html>

一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金

[http://www.zennikki.or.jp/buz/buz01\\_01.html](http://www.zennikki.or.jp/buz/buz01_01.html)

注4: 補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5: 平成26年度より、消費税抜きで算定しています。

注6: 交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。

<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

公益社団法人 福岡県畜産協会

経営指導部基金事業課(担当:森廣)

TEL 092-641-8723 FAX 092-642-1276

(参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)  
【平成30年6月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,134,957
生産コスト (B)	1,258,062
差額 (C) = (A) - (B)	△ 123,105
補填金単価 (D) =  (C)  × 0.9	110,700

粗収益 (A) = ① + ②	1,134,957
主産物価格 ① = a × b	1,124,838
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,277
枝肉重量 (kg) b	494
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,258,062
物財費 ③	1,158,011
もと畜費	799,249
飼料費	283,384
流通飼料費	281,761
麦類	11,346
とうもろこし	11,555
ふすま	11,126
かす類	7,665
配合飼料	195,284
稲わら	24,001
その他	20,784
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	11,814
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,393
自動車費	7,036
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,232,971
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,781

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)  
【平成30年4月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,226,779
生産コスト (B)	1,257,079
差額 (C) = (A) - (B)	△ 30,300
補填金単価 (D) =  C  × 0.9	27,200

粗収益 (A) = ① + ②	1,226,779
主産物価格 ① = a × b	1,216,660
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,395
枝肉重量 (kg) b	508
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,257,079
物財費 ③	1,157,322
もと畜費	799,249
飼料費	282,933
流通飼料費	281,310
麦類	11,228
とうもろこし	11,443
ふすま	11,151
かす類	7,582
配合飼料	195,070
稲わら	24,141
その他	20,695
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	11,595
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,381
自動車費	7,029
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,232,282
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,487

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考3)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)  
【平成30年5月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,142,047
生産コスト (B)	1,257,381
差額 (C) = (A) - (B)	△ 115,334
補填金単価 (D) =  (C)  × 0.9	103,800

粗収益 (A) = ① + ②	1,142,047
主産物価格 ① = a × b	1,131,928
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,296
枝肉重量 (kg) b	493
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,257,381
物財費 ③	1,157,475
もと畜費	799,249
飼料費	282,988
流通飼料費	281,365
麦類	11,281
とうもろこし	11,480
ふすま	11,139
かす類	7,607
配合飼料	195,070
稲わら	24,071
その他	20,717
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	11,693
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,381
自動車費	7,029
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,232,435
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,636

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考4)

## 主産物価格及びもと畜費の算定

### 1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

#### 【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、西宮市食肉センター

### 2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

#### 【算定に用いる家畜市場】

鳥取県中央家畜市場、島根中央家畜市場、中央家畜市場（佐賀県）、  
宇久小値賀家畜市場、壱岐家畜市場、平戸口中央家畜市場、五島家畜市場、  
球磨家畜市場、熊本県家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、  
都城地域家畜市場、小林地域家畜市場、高千穂家畜市場、  
宮崎中央農業協同組合家畜市場、曾於中央家畜市場、肝属中央家畜市場、  
種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、沖永良部家畜市場、与論家畜市場、  
南部家畜市場、宮古家畜市場、黒島家畜市場